



第3回 大規模災害対策現地勉強会(津波対策)

実施要領

1. 実施概要

開催日時

2010年(平成22年)10月1日(金)～3日(日) 2泊3日

開催会場

岩手県三陸沿岸(大船渡市、釜石市、宮古市(津軽石川地区、田老地区)久慈市)

主要内容

三陸海岸は、過去、我が国史上最大級の津波といわれる明治三陸津波(1896年)、昭和三陸津波(1933年)、チリ地震津波(1960年)の三度大津波による被害を受けている。特に今年、チリ地震津波災害から50年目にあたるとともに、2010年2月27日に発生したチリ地震津波が再来し、漁業施設等に大きな被害をもたらせた。津波の常襲地帯となっている三陸沿岸地域では、様々な津波対策が講じられており、我が国で最も津波対策が進んでいる地域である。

そこで、この岩手県三陸海岸を対象に、過去ならびに近年の津波災害の痕跡を調査するとともに、我が国で最も進んでいる津波対策の現状について調査し、迫り来る東海・東南海・南海地震津波対策検討の参考とする。

2. 行程

●10月1日(金)

11:30 いわて花巻空港集合(大阪空港9:30(JAL2181)→新花巻空港11:20着)

↓

12:00 新花巻駅
(JR組合流:東京9:16発(新幹線はやて11号)→新花巻駅11:47着)

↓

12:00～12:45 昼食(花巻市内:道奥 金婚亭)

↓

15:45～15:55 大船渡市(大船渡港湾口防波堤)

↓

16:20～16:50 大船渡市(綾里津波痕跡碑、白浜海岸視察)
※痕跡値38.2m(1896年明治三陸津波(M6.8))

↓

18:00 釜石市(泊)

●10月2日(土)

9:00～10:30 釜石市(東北地整釜石港湾事務所/釜石港湾口防波堤視察)

↓

12:00～12:45 昼食(宮古市内:陸中物産センター)

↓

13:00～13:30 宮古市(岩手県沿岸広域振興局/津軽石川水門視察)

↓

14:30～15:10 宮古市田老地区(岩手県沿岸広域振興局/津波防潮堤、津波痕跡視察)

↓

15:40～15:55 岩泉町(岩手県沿岸広域振興局/小本川津波水門視察)

↓

18:00 久慈市(泊)



●10月3日(日)

9:00～10:45 久慈市（東北地整久慈港出張所／久慈港湾口防波堤、港湾防潮施設視察）

↓

12:45～14:45 昼食（龍泉洞観光会館）・龍泉洞視察

↓

17:15 盛岡駅（JR組解散：17:41 発（新幹線はやて 26 号）→20:08 東京駅着）

↓

18:00 いわて花巻空港解散（19:00 発→20:30 大阪空港着）

3. 参加者等

特定非営利活動法人大規模災害研究機構の会員および一般

4. 事務局

特定非営利活動法人大規模災害研究機構 事務局

〒531-0074

大阪府大阪市北区本庄東 2-3-20 株式会社 ニュージェック技術開発グループ気付

TEL：06-6374-4420（事務局担当 吉田）

FAX：06-6374-5108

E-mail：cdr@newjec.co.jp

<http://e-tsunami.com/>

5. その他

(1) 宿泊ホテル

(10/1) サンルート釜石

（〒026-0024 岩手県釜石市大町 2-3-3 TEL：0193-24-3311）

(10/2) 久慈グランドホテル

（〒028-0051 岩手県久慈市川崎町 10-15 TEL：0194-52-2222）

(2) 緊急連絡先

事務局（吉田：携帯電話） 090-6966-1015

日本旅行（担当：関） 06-6204-1812 （携帯：090-6486-6691）